

「令和7年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.5)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和7年7月14日～18日
(5日間)

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

岩手県内在住のIさん。農業に興味があり、将来、農業を行いたいと考えている。「今回を機会に農業に関りを持ちたい。農作業の大変さを学びたい。」とインターンシップコースにお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻 843ha（主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha）、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

また、新規就農者確保のため、就農希望者に研修を受けさせながら、自営就農への支援をしています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

ガイダンス（組合の概要）、管内巡回、玉ねぎの仕分け、ブッキーニの定植・収穫・調製、ブルーベリーの収穫、スイートコーンの脇芽摘み・ネット張り、りんごの摘果、スイートコーン畑の草取り、トラクター耕起作業、畝づくり作業と様々な研修を実施しました。

■ 研修先からは、新規就農する場合の様々な留意点、農業所得などについての説明もしていただきました。



■ 研修の感想

- ・ 玉ねぎの仕分け作業では、コンベアを使っていた作業でしたが、意外に人の力が必要なこと、ブルーベリーの収穫では一粒一粒丁寧に選定するため非常に手間がかかる作業でしたが、作業の全てが初めてだったので、興味深かったです。
- ・ トラクターでの耕起作業は良い経験になりました。コンバインで作業しているところも見なかったです。
- ・ 今回の研修で、農業を始める仕組みを知りました。



■ 今後の予定

- ・ 農業に興味はあるけれど、就農は兼業で検討して行きたいと思います。きゅうりでの研修も、してみたいくなりました。